



女らしく?

男だから?

女だから?

男らしく?



アンコンシャス・バイアス…

「無意識の」を意味する「アンコンシャス」と「偏見、先入観」を意味する「バイアス」からできている言葉

“生きづらさ”につながる、 アンコンシャス・バイアス

「女らしく、男らしく」「女だから、男だから」ということは、言ったこと、言われたこと、聞いたこと、ありませんか?

「女性だから〇〇すべきだ」「男性だから〇〇であるべきだ」というような固定的な性別役割分担意識は、知らず知らずのうちに、**自分らしい生き方を阻害してしまったり、またその人の能力を発揮するチャンスを奪ってしまうことにもつながります。**

自分の置かれた環境や経験などから、**無意識のうちに偏ったものの見方をしてしまうことを アンコンシャス・バイアス** といい、これは誰にでもあるものだそうです。自分がどのようなバイアスを持っているかに気づく視点を持つことが大切です。性別を理由に思い込みや決めつけがないか、ご自身の考え方や行動を見つめ直してみませんか。

様々な年代の男女からつぶやきを集めてみました。

無意識にこんなことは使っていませんか?



「女らしさ・女だから」 意外にも同性からのことばです。

「もうちょっとかわいいデザインの服を着たら?」
…お気に入りの服装なのに、なんで?…
「女の子なら家事ができないとね」
…兄や弟には言わないのにどうして?…
「産休が取れて、かつ産休後も産休前と同じようにしっかり働ける配慮のある職場を選びなさい」
…就職決める前から、出産のことまで言わないで…

「男らしさ・男だから」 20～30代男性から集まったつぶやき

「男なんだから髪を坊主にしなさい」
「弱々しい」とか「負けん気がない」とか。
「ピアノは女の子が習うもの」
「手芸なんかは女の子がやるもの」
仕事場で「高い場所は怖くないだろ!」
「男は泣くな!」「男なんだから強いでしょ!」
「しっかり働きなさい!」

鹿児島ならではの?お風呂編

大黒柱(男性)がお風呂に一番に入る決まり!
義母はいつも義父が入った後にしか入っていなかった。
泊まりにきた時も夫(息子)が一番に入るべきと言って
いた。(50代女性)

決めつけないでほしかった 進学・進路編

女の子だからという理由で大学は行かなくてもいい、
短大・高卒でいいよね。と言われた。
(60代 女性)



大学受験、「男の子なら浪人して来年チャレンジしてもいいけれど、女の子で浪人するのはちょっと…」と言われたりもあるみたい。



結婚・出産後は結局、働くのは夫、家事や育児は妻。なんとなくそうになっている家庭もありそう。

男性には「今の仕事は向いていないけど弱音は吐けないし、一家の大黒柱として妻や子どもの生活を支えないと…」との重圧があるのかもしれない。

持っている能力や得意なことを発揮できる分野、性別を理由にあきらめるのはもったいない!

本当にやりたいこと、望むことを、選べていたらいいね。



自分の中のバイアスを外してみましょう!



核家族、共働き、子どもたちも習い事等でお風呂に入る時間もバラバラ。男女年齢問わず入れる人が誰からでも入る時代になってきている。(50代女性)



今だから伝えたい。

なりたい職業、やりたいことがあれば男女問わず4年制大学、大学院で学びたいだけ学んでいいんだよ。
(40～60代男女・複数)



性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に関する調査結果から (令和4年度 内閣府男女共同参画局調査)

性別役割意識(全体) それぞれ上位4項目を紹介します。(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の合計の%)

男性

回答者数：5452

- 1 男性は仕事をして家計を支えるべきだ48.7%
- 2 女性には女性らしい感性があるものだ45.7%
- 3 女性は感情的になりやすい35.3%
- 4 デートや食事のお金は男性が負担すべきだ34.0%

- ◎男女ともに「男性は仕事をして家計を支えるべきだ」がいちばん高かった。
- ◎性別役割意識についての項目は全体的に男性が高い割合となった。
- ◎異性に対する思い込みだけでなく、男性・女性自身も無意識のうちに自身で(異性より)強く思い込んでいることもある。
- ◎50代～60代女性で、性別に基づく役割や思い込みの決めつけを「感じてきた」割合が強い。

女性

回答者数：5384

- 1 男性は仕事をして家計を支えるべきだ44.9%
- 2 女性には女性らしい感性があるものだ43.1%
- 3 女性は感情的になりやすい37.0%
- 4 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない33.2%

上位5位以下も
紹介されています



男女共同参画局HP



とらいあんぐる
バックナンバーは
こちら!! ▶



たとえば「仕事はバリバリではないけれど、家事は好きだし、得意」という男性もいれば、「料理や掃除はちょっと苦手だけれど、仕事は好きだし、そっちのほうが自分の力が活かせる」と感じている女性もいるはずです。今回、集めたつぶやきから性別によって仕事や役割を決めつけられることで、本人が望むように生きられていない、生きづらさに繋がっている場合がまだまだあることが感じられました。

固定的な考えによって差別や制限をされず、誰もがお互いを尊重し合い、意欲に応じてあらゆる場面で個性や能力を発揮できる社会を築くために、自分自身の言葉かけひとつから始めてみませんか。

一人ひとりが活かされる地域づくりを目指してひとみらいセミナーを開催

講師：金子 満氏(鹿児島大学准教授)
7月2日にSSプラザせんだいで開催しました。



地域を元気にしたいわたしたち

やる気が失われていくような社会を、みんなで支え合う力で、元気になるそんな方法を教えていただきました。

【人材不足】

例えば、地域と一緒に活動するときにも、生活する環境や考え方、価値観がそれぞれ違うと、できることも、やり方にも違いが出てきます。

そんな違いを、それぞれに、得意なことや苦にならないことを組み合わせ、たくさんの人が参加できたら楽しい地域になります。

おすすめの本

「ずるい言葉」 著／森山至貴



「あなたのためを思って」よく口にするまたは耳にすることば。

こういうことばを聞くとモヤモヤしませんか? そういった納得のい

かないことばについて、そこにはどんな意図が隠されているのかを解説してあります。この本を読んでそのようなことばを言われた時にどのように対処するかを学べて、自分らしく生きていく強さを身につけられる本です。(S&Y)

♡相談窓口

①女性の相談窓口

と き：月～金(祝日・休館日・年末年始を除く)
9時～17時
TEL: 070-2636-7763, 25-6056

②何でも無料相談室

と き：毎週土曜日13時～16時
TEL: 25-6056

①②とも場所は男女共同参画センター (SSプラザせんだい内)

●配偶者等からの暴力

と き：月～金(祝日・年末年始を除く)9時～17時
ところ：市役所社会福祉課
TEL: 20-6343(直通)

●よりいそいそホットライン

と き：24時間対応
TEL: 0120-279-338

編集後記

無意識の善意であっても「○○なのに、だから」の一言でかえって伝わらないことあるんですね。私自身は会合などで「女性ならではの意見を」と言われるとちょっとモヤモヤ。おもいや考えは十人十色で束ねられない。でもそれが面白いと思うのでのびのびと自分なりの意見を言えるように、ゆる～く心がけています(な)

発行／薩摩川内市未来政策部コミュニティ課
編集／薩摩川内市男女共同参画推進実行委員会
問い合わせ先／〒895-8650
薩摩川内市神田町3-22
TEL: 0996-23-5111(内線4741)
FAX: 0996-20-5570
Email: hitomirai@city.satsumasendai.lg.jp
(令和5年 8月発行)